

まちかどネットワーク

日本で初めて、ダウン症のあるモデルとして、今年3月2日にフランスで開催されたパリファッションウィーク（日本の愛称は「パリコレ」）に出演した齊藤菜桜さん。

菜桜さんは、令和4年に特別支援学校を卒業した後、現在は就労継続支援B型事業所に勤務しながら、モデルとして市内を拠点に活動しています。仕事とモデル活動の両立について何うと「事業所での仕事も、モデル活動も、楽しくて大好き」と笑顔で話してくれました。

夢の舞台「パリコレ」に出演



ダウン症モデル

な お
齊藤 菜桜 さん

モデルとして活動するきっかけとなったのは、9歳のときに（公財）日本ダウン症協会が開いたファッションショーのステージ。その翌年にはダウン症啓発ポスターに起用されたり、東京ガールズコレクションがプロデュースする「TGC teen」にも出演したりするなど、多くの場面で活躍しています。

その後、「みんなが笑顔になるモデルになりたい」「障害があっても夢をあきらめない」という思いが強くなり、海外のファッションショーに出演するという目標を持ち、母親の由美さんと二人三脚で支え合いながら夢を追いかけました。

長年のレッスンの成果を披露

ダウン症には、関節や筋力の緊張が弱く、体が柔らかいという症状があります。菜桜さんも姿勢を保つことやウォーキングの習得が難しいというハンデを抱えながら、夢の実現に向けて5年間レッスンを続けてきたそうです。この様子を見守ってきた由美さんは、「ショーでは、長年のレッスンの成果がしっかりと表れていました。背筋を伸ばして堂々とまっすぐ歩き、両手を広げたり、ターン



▲レッスンに励む様子

したりするなど、オリジナルのポーズングをいくつも披露していて、とても感動しました」と話します。

夢の舞台「パリコレ」では、デザイナーのサミーナ・ムガルさんのショーにゲスト出演し、福岡県北九州市の貸衣装店「みやび」の池田雅さんが制作したカラフルな和装ドレスを身にまとい登場。菜桜さんにランウェイを歩いた感想を伺うと、「楽しかった！ワクワクした。緊張はしなかった。ママが『うれしい』って泣いてた」と話してくれました。

今後はアメリカのショーに…

菜桜さんに今後の目標を聞くと、「次はアメリカに行きたい。ファッションショーに出たい。オレンジとか青とかの服を着たい。みんなに笑顔を届けられるように頑張る！」と笑顔で意気込みを話した。由美さんは「夢を叶えることができたのは、菜桜の夢に協力してくれた人たちと、応援してくれた人たちのおかげです。さらにきれいに歩く姿を見たいです」と話してくれました。

さらなる目標を

抱え、「みんなが笑顔になれるモデル」として活躍していく菜桜さん。今後の活動に注目です。



▲取材に応じる菜桜さん